

才能へのまなざし

—これからの学校、教員養成ができること、すべきこと—

事前の
申し込み
不要

2024/12/18(Wed)
15:00 - 17:00 受付開始 14:30 から

次世代教育イノベーション棟
AUE カキツバタホールにて



主催 愛知教育大学未来共創プラン
戦略7教科横断探究プロジェクト



個別最適な学びについての取り組みの深化が全国的に進む中、これからの学校教育、教員養成、教育行政では子どもたちの「**才能**」に対しどのようなまなざしを向けていくべきかについて知見を得、各立場の意見を交換する。

また、本学における教科横断型学習や探究型学習における**コーディネート力育成**の方法について知見を得る。

第一部

講演「私のパラダイムシフト:ROCKETからSPACE、そして異才から個才へ」

講師の福本理恵氏が2014年から2020年に携わった東大先端科学技術センターのROCKETは「異才発掘」のためのプロジェクトでした。その後、福本氏が立ち上げた株式会社 SPACE では「異才」ではなく「個才」に視点を移しました。この視点の変化の意図や、その視座から捉えた教育の未来、可能性についてお話いただきます。

第二部

対談「個別最適な学びは学校でどこまでできる？どこまですべき？」

一人一人の個性や才能へのまなざしは昨今の学校教育で重視されている「個別最適な学び」と深くかかわります。第二部では、それぞれ異なる立場で、しかし、同じく凄まじい熱量で教育に携わってきた福本氏と愛知教育大学の真島聖子氏が「個別最適な学び」の理想と現実を、ホンキとホンネで熱く語り合います。

講師：福本理恵氏

株式会社 SPACE 代表取締役 CEO/ 最高情熱責任者



2014年、日本財団と東京大学先端科学技術研究センターが共同で進める「異才発掘プロジェクトROCKET」のプロジェクトリーダーとして、立ち上げから運営まで全般を指揮。一人ひとりを生かす個別最適な探究的学びの設計における知見を生かして、2020年に株式会社SPACEを設立。2021年、経済産業省「産業構造審議会」委員、文部科学省「特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議」委員。長野県、鎌倉市、京都市など、自治体への教員・幹部職員への研修実績も多数。
関連著書『学校の枠を外した』（東京大学先端科学技術研究センター中邑研究室編）等

登壇者：真島聖子

愛知教育大学 学長補佐 / 准教授



上越教育大学大学院修士課程修了後、新潟県と愛知県の小学校で教員、韓国教員大学校中等教員養成所で講師を勤める。2009年愛知教育大学社会科教育講座に着任。2020年から同学長補佐。2018年から「中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会課程認定委員会」専門委員、2023年から「中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会」臨時委員。専門は社会科教育、主に政治・経済・法律・社会など公民分野。

問い合わせ先：愛知教育大学 学務部 教務企画課 教育課程係

TEL/0566-26-2164

MAIL/kyouikukatei@m.auecc.aichi-edu.ac.jp